

## 厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を求める意見書

地方分権及び地方創生の進展とともに、加速する人口減少社会への対応が、我が国の将来にとって喫緊の政治課題となっている。

地方公共団体の重要な意思決定を行う地方議会は、多様化する民意の集約と地方行政への反映が期待されており、その果たすべき役割と責任は重要性を増している。

このような状況の中、地方議会議員は地方行政の広範かつ専門的な諸課題について、住民とのコミュニケーションをより一層深めるとともに、的確に執行機関の監視や政策提言などを確実に行うことが求められている。このような活動範囲の広がりに伴い、近年においては議員の専門化が進んでいる。

一方、今日では就業者の9割を会社員等の被用者が占めており、地方議会議員のなり手も会社員等からの転職者が期待されている。

地方議会議員が厚生年金に加入できるようになれば、会社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、家族の将来や老後の生活を心配することなく議員に立候補し、議員活動を続けることができる環境が整うことになる。多様で才能ある人材の確保に大きく寄与し、地方議会制度の機能強化につながることを考えると考える。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点において、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月21日

衆議院議長 様 ほか

魚津市議会